

北海道高等学校文化連盟第8回全道高等学校 英語プレゼンテーションコンテスト開催要項

- 1 主催 北海道高等学校文化連盟 国際交流専門部
- 2 当番校 北海道札幌国際情報高等学校
- 3 期日 令和3年5月23日(日)
- 4 会場 北海学園大学
- 5 参加資格
 - ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する生徒。
 - ・英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒(就学前の滞在は不問)はチームに1名までとする。
- 6 チーム構成 1チーム3~10名まで。他校との合同チームも可とする。
 - ・ただし、機器等の操作だけを担当する生徒がいる場合は、その1名は発話をしなくても人数に含めて良いものとする。それ以外の生徒は必ず発話の機会を設けること。
- 7 内容
 - (1) テーマ:「当該学校が所在する市町村により多くの外国人観光客を誘致する施策」
 - ※新型コロナウイルス感染症が収束し、外国人が来日できる状況を想定して考えること。
 - ※実際のデータ、現地の取材、インタビュー等多角的にリサーチをしてプレゼンテーションをすること。
 - ※現地の取材、インタビュー等を行う際は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底すること。
 - ※具体的にどのような広報を行うのか、また実施計画全体でどのくらいの費用がかかるのかについても触れること。
 - ※なお、発表する対象は外国人観光客ではなく、北海道の受け入れ関係者(市町村・企業・組織等)とする。特に強く誘致する国や地域を限定しても構わない。
 - ※「より多くの外国人観光客」とは増加の割合を意味するものとする。
 - ※使用する資料・画像・映像などについては、著作権、著作権、使用許諾等を確認の上で使用する。
 - (2) 制限時間: 8分 開始後8分経過したら2回振鈴し発表を中止する。(タイムキーパーが1分前で経過時間を掲示します)
 - (3) 発表方法: 自由。使用言語は英語。プレゼンソフト、ビデオ、スライド、紙芝居、実演、ポスターなど可。プロジェクター・スクリーン・接続ケーブルは主催者側が準備しますが、コンピュータはご持参ください。
- 8 審査基準

①現状分析(Analysis)	5点	現状を的確に把握しているか、データに基づいているか
②提示内容(Plan)	5点	提案に新規性、創造性があるか (Creativity)
③提案効果(Effects)	10点	外国人観光客は増えるか (Impact) 実現の可能性は高いか (Feasibility)
④構成(Organization & Logic)	5点	時間配分が良いか、展開が分かりやすく論理的か
⑤提示効果 (Visual Aids)	5点	スライド等を効果的に使っているか
⑥英語運用 (English & Delivery)	10点	的確な表現を使っているか、明確に発話しているか
⑦協力(Team Work)	5点	チームとしてのまとまりはあるか、各パートのつながりがスムーズか
⑧応答(Q&A)	5点	質問に的確に答えられたか
計	50点	

※質問者による Q&A は1問のみ。質問形式は Wh- question のみとする
- ※ 英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒は、応答(Q&A)の回答をしないこと。
- 9 審査員 予選3名程度 決勝戦6名程度

10 時 程

8:30～	受付	
8:50～9:50	予選（3会場に分けて実施）	1～5（札幌近郊の学校を中心に）
10:00～11:15	予選	6～11
11:30	予選結果発表	各会場上位2位までのチームが決勝進出
12:15～	決勝進出チーム	1～6
14:15～	結果発表	

※時程は変更されることがあります。

11 参加費

1チームにつき3,000円（大会当日に受付で納入してください）

※新型コロナウイルス感染症対策による会場の人数制限のため、一校からの出場チーム数は、1チームとします。

12 申し込み

参加申込書に必要事項を記入 **4月23日（金）** までに札幌国際情報高校にメールで送信下さい（厳守）。メールを受信しだい3日以内に確認メールを返信します。

また、申し込みに関する問い合わせは札幌国際情報高校（小林）までお問い合わせください。

tel: 011-765-2021 / mail: koba0922@hokkaido-c.ed.jp

13 賞

1～2位に優勝カップ+賞状、3～6位に賞状を授与。その他に奨励賞あり（3校）。

14 感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策による会場収容人数に制限があるため、自校の発表時間の20分前までに来場し、受付をして下さい。
- (2) 会場には、発表生徒及び引率顧問以外は入場できません。（保護者等への周知をお願いします。）
- (3) 会場内では、水分補給以外の飲食については、ご遠慮願います。
- (4) 決勝進出チームについては、会場内で決められた時間内に昼食をとることは可能です。
- (5) 午後の発表については、決勝進出チームのみの参加となります。
- (6) 各会場での発表の様子はライブ配信等を行う予定です。
- (7) 新型コロナウイルス感染症の状況次第では、ビデオ審査等に変更する場合があります。4月16日を目途に判断し、お知らせいたします。また、ビデオ審査の場合は審査基準の変更も検討します。

15 その他

- (1) 地区大会の開催はありませんので、参加資格のある学校は出場可能です。
- (2) 上靴は必要ありません。外靴のまま会場にお入りください。
- (3) 宿泊先の幹旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。
- (4) 会場に駐車場はありません。公共交通機関等を使ってお越し下さい。
- (5) マイク、プロジェクター、スクリーン、接続ケーブルは主催者側が用意しますが、それ以外のものは各参加チームで用意して下さい。
- (6) 優勝チームには8月に行われる第45回全国高等学校総合文化祭に参加資格が得られる見通しです。ご承知おきください。（詳細は未定となっております）

北海道高等学校文化連盟
第8回全道英語プレゼンテーションコンテスト 出場申込書

学校名					チーム名					
参加者名 学 年		年					年			
		年					年			
		年					年			
		年					年			
		年					年			
<p>*機械操作のみ担当する生徒がいる場合は、学年の左欄に○を付けて下さい。 *英語を母国語とする生徒と英語を第1言語とする国で12か月以上の滞在経験のある生徒は学年左欄に◎を付けて下さい</p>										
発 表 タイトル										
学校が 所属する 市町村										
チ ー ム 紹 介 文 *日本語で記入して下さい。(プログラムに掲載します。)										
引率教諭氏名										
発表形態										
使用物品										
通信欄										

※ 枠の中に記入し、メールにて事務局へ送信してください。郵送は不要です。

※ 提出締切：4月23日(金)

※ 送 付 先：国際交流専門部事務局 札幌国際情報高校
担当者：小林康洋 / e-mail : koba0922@hokkaido-c.ed.jp

※ メールが届いたら3日以内に事務局から返信します。返信がない場合は申込が済んでいない可能性があります。必ず返信を確認してください。